



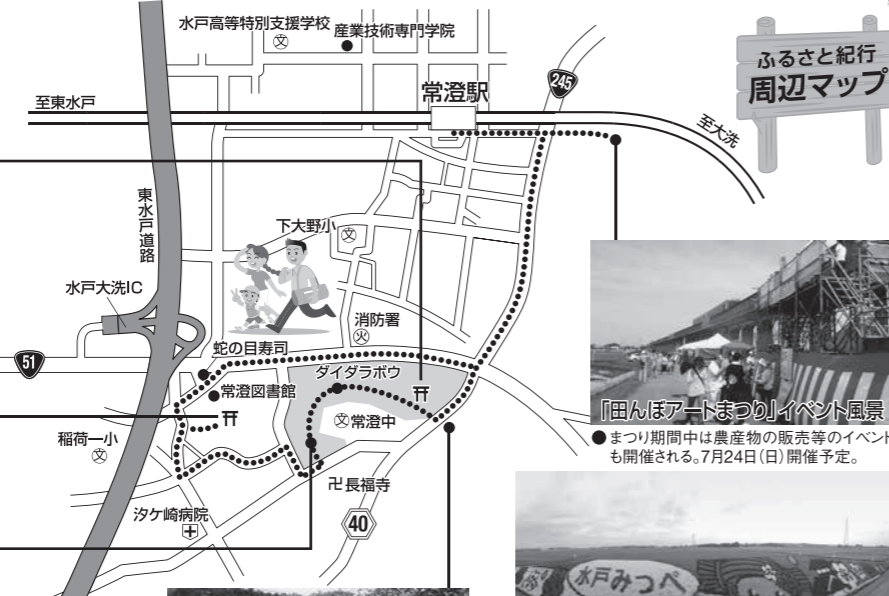
折居神社
●創建は不明、祭神は武甕槌命(タケミカヅチノミコト)で大串貝塚に隣接し鎮座する。



大串稲荷神社
●倉稲魂命(ウカミタマノミコト)を祭神とするこの神社には江戸時代に徳川綱條より寄進された神輿と日月鉢(じつげつぼこ)がある。



大串貝塚ふれあい公園
●縄文時代に形成されたという大串貝塚に整備された公園。園内には「縄文暮らしの四季館」や「貝層断面観覧施設」などの施設がある。



ふるさと紀行
周辺マップ



ダイダラボウ
●公園内にある高さ15mの巨人像。



折居の泉
●太古から里人やここを通る旅人の命水として大切にされてきた。



『田んぼアートまつり』イベント風景
●まつり期間中は農産物の販売等のイベントも開催される。7月24日(日)開催予定。



田んぼアート
●大洗鹿島線の車窓からも見ることができる大きな田んぼアート。見頃は6月～7月頃、期間中は水田に隣接した物見台からも鑑賞することができる。
※写真は平成27年の「田んぼアート」を撮影したものです。

「田んぼアート」についてのお問い合わせは
水戸市産業経済部農政課 TEL029-232-9181

駅からのふるさと紀行
鹿島臨海鉄道
大洗鹿島線

常澄駅

← 東水戸 | 大洗 →

●次回は7月24日「つくば駅」を掲載予定です。 ※イラストはイメージです。



●駅の高架下には数台の駐車場とターミナルがある。その周辺は緑がまぶしい田園風景が広がる。



●島式1面2線を有する高架駅。ホームには待合室と屋根がある。



●常澄駅を発着する8000形。



「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

ISUZU

茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(代)
http://www.ibaraki-isuzu.co.jp

田園風景に突如、現れるアート
常澄駅―大洗駅間の車窓から臨む絶景

常澄駅は昭和60年3月、鹿島臨海鉄道大洗鹿島線の開業に伴って設置された。駅の周囲には豊かな田園風景が広がっている。

高架橋を走る大洗鹿島線の車窓から眺める風景は格別。春から秋にかけて、常澄駅―大洗駅間の田園風景を眺めていると、突如「田んぼアート」が現れる。平成26年、大洗鹿島線の利用促進や地域農業の活性化、都市と農村の交流を図ることなどを目的に始まったもので、今年で3回目を迎えた。

田んぼアートは水戸市と川又田んぼアート協議会、茨城大学が連携して作成している。稲が大きく成長する7月下旬には、「田んぼアートまつり」が開催され、市内の農産物の販売や各種のイベントなど、毎年多くの人でにぎわっている。また、大洗鹿島線の列車から田んぼアートを鑑賞する「田んぼアートツアー」も開催される。

今年の「田んぼアートまつり」は7月24日(日)の予定。ぜひ、訪ねてみよう。

● 散策コース ●

常澄駅から大洗方向に行くと、田んぼアート会場がある。今年のデザインは昨年日本遺産に認定された「弘道館」、「みとちゃん」、「梅」などとなっている。季節限定の特別なアートを満喫したら、国道245号を南下し、折居神社と折居の泉を訪ねよう。武甕槌命がこの地を訪れた時、ここで休憩したという伝説がある。また、水戸藩9代藩主・徳川斉昭(なりあき)は、この泉の水が美味しいことから「無量水」と名付けた。

折居神社の次は遊歩道を通して大串貝塚ふれあい公園へ。約5000年以上も前に形成されたといわれる大串貝塚は、国の指定史跡で、奈良

時代に編み込まれた「常陸国風土記」にも記載されている。巨人伝説もあり、公園内には高さ15メートルの「ダイダラボウ」の像のほか、ダイダラボウの足跡をかたどった池がある。公園の北東には大串稲荷神社があり、秋の祭礼では、無病息災、五穀豊穡などを願い、江戸時代から「さらばやし」が奉納されている。また、大串稲荷神社から国道51号に向かうと蛇の目寿司がある。近くの那珂湊や大洗の新鮮な地魚を使用した料理は人気が高い。特に地魚にぎり寿司や地魚丼、あなご天井がオススメ。



蛇の目寿司の「地魚にぎり寿司」